

公表

放課後等デイサービス 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハーモニー			
○保護者評価実施期間	R 8年 2月 6日		～	R 8年 3月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数)	36
○従業者評価実施期間	R 8年 3月 1日		～	R 8年 3月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	R 8年 3月 28日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援の質と満足度 ・職員を多く配置しており、こどもの状態に合わせた柔軟な対応ができる体制が整っています	・基準人員以上の手厚い職員数でこどもの状態に合わせた柔軟な対応ができる体制	・基準人員以上の手厚い職員数でこどもの状態に合わせた柔軟な対応ができる体制のため有資格職員を募集する ・適切な支援計画とアセスメント ・フォーマル・インフォーマルなアセスメントの実施
2	安心感とこどもの意欲 ・公認心理師や教職経験者による子どもの困り感に対する丁寧な支援 ・体調の管理への手厚い対応 ・定期的な緊急時訓練で安心な施設の認識の定着 ・体験活動により経験値を積み人間関係と社会性を育む	・毎日の体温チェック他、コミュニケーションの訓練 ・健康管理の意識付けもかね睡眠状態や食事状況の把握 ・職員がこまめに把握し必要に応じて保護者に連絡確認のフォローを行っている	・体験活動のさらなる充実 ・定期的に「今月の安全訓練」として訓練風景を紹介する

3	<p>相談体制と共感的態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の不安や悩み困り感に寄り添う姿勢 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報伝達ツールや送迎時を活かし、保護者や学校との情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報伝達ツールや送迎時を活かし、保護者や学校との情報共有を行い保護者や子どもの不安や悩みを拾いやすくし相談のしやすい環境を維持する
---	--	---	--

	<p>事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること</p>	<p>事業所として考えている課題の要因等</p>	<p>改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等</p>
1	<p>地域・社会交流の機会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流が苦手な子への配慮として参加を控えているケースもあり、活動実態が全保護者に伝わりきっていない ・交流活動に対する情報発信の弱さ 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の特性上、交流の厳しい場面が想定される ・地域交流と位置づける活動の情報共有が弱い 	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域公開デイ」など少人数から住民を招く行事を企画する ・広く情報を収集し児童生徒の特性を考慮した地域交流の機会を設ける
2	<p>保護者同士の交流・家族支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・父母会がないことや、保護者の多忙さから参加状況が芳しくないこと ・安全計画に関する保護者への周知不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・父母会の未設置や、安全計画に関する保護者への周知不足が課題として挙げられる 	<ul style="list-style-type: none"> ・父母会の立ち上げ検討 ・オンラインでの家族研修会など、多忙な保護者でも参加しやすい機会を増やす ・家族支援プログラムの企画や参加者増を含め、保護者を巻き込んだ運営体制の強化をはかる
3	<p>安全管理・防災計画の周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルの策定や訓練について、実施はされていますが、その内容や結果のフィードバックが一部の保護者にとって不十分である 	<ul style="list-style-type: none"> ・周知が不十分 ・全利用者〔児童生徒〕が訓練研修ができていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・LINEや連絡アプリを通じて、安全計画や訓練結果を定期的に配信し、保護者の安心感を高める ・訓練企画の曜日や週間を設けるなどで利用者全てが机上講習及び実地訓練を受ける機会を設ける